

放射線リスクコミュニケーション教育部門第1回講演会開催案内

弘前大学大学院保健学研究科では、文部科学省特別経費事業「緊急被ばく医療の教育・研究体制の高度化及び実践的プログラムの開発」(平成25年度～平成29年度)を実施しております。

この取り組みの一環として、原発事故に伴う福島県双葉郡川内村の現状について理解を深め、放射線リスクコミュニケーション教育の重要性と実践上の示唆を得ることを目的とし、標題の講演会を開催いたします。

1. 日 時:

平成25年11月5日(火) 18:00～19:30

2. 会 場:

弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟6F 第24講義室

3. 対 象:

県内被ばく医療施設職員、県内保健師、県内行政担当者、一般市民、
本学医学部附属病院職員、本学大学院保健学研究科教職員

4. 講師・講演テーマ:

○講演1

福島県双葉郡川内村復興対策課課長 井出寿一 氏

テーマ「原発事故に伴う避難から復興の現状、職員として課題はなにか」

○講演2

長崎大学 保健師 折田真紀子 氏

テーマ「長崎大学・川内村復興推進拠点におけるリスクコミュニケーションの展開」

5. 概要・目的:

川内村は全域が東京電力福島第一原子力発電所より30km圏内に位置しています。平成24年3月31日には20km圏内の警戒区域の解除に伴い、避難指示解除準備区域と居住制限区域に設定されました。事故による全村避難から約1年余りで村長による帰村宣言を発し、急ピッチで除染と復興に取り組んだ結果、帰村率は約半数に達しています。川内村職員により避難から復興の現状についてお話しいただくことで実情と対応についての理解を深め、さらに、実際に住民とリスクコミュニケーションをとっている保健師から、放射線リスクコミュニケーション教育の重要性と実践上の示唆を得ます。

6. 参加費:

無料 (事前お申込みは不要です)

7. 主 催:

弘前大学大学院保健学研究科 高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト
放射線リスクコミュニケーション教育部門

◎お問い合わせ先

弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ 板垣

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 Tel: 0172-39-5905 Fax: 0172-39-5912

放射線リスクコミュニケーション 教育部門 -放射線のリスクをいかに伝えるか?-

第1回講演会



講師：井出 寿一氏 ●
(福島県双葉郡川内村復興課課長)

テーマ

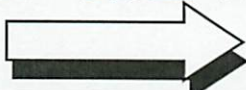
原発事故に伴う避難から復興の現状、
職員として課題はなにか



講師：折田 真紀子氏 ●
(長崎大学 保健師)

テーマ

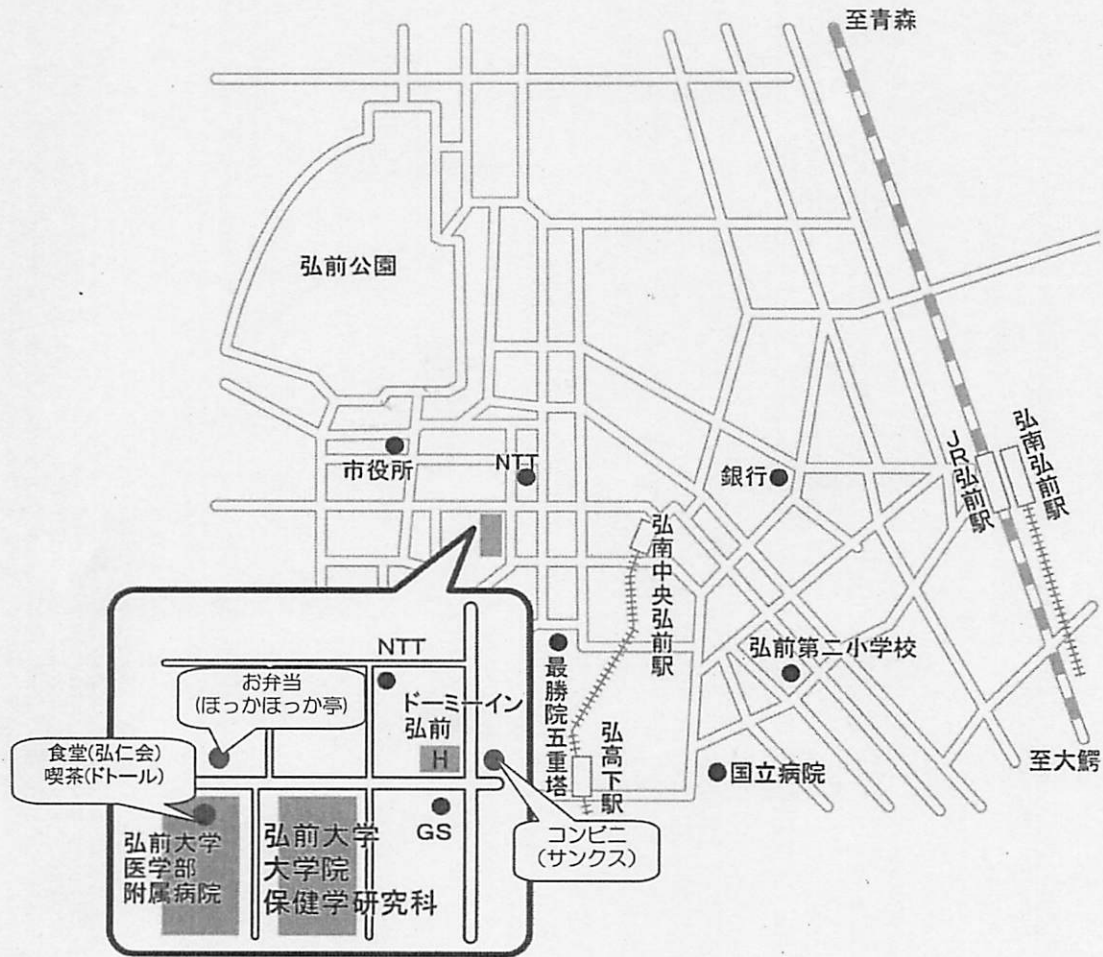
長崎大学・川内村復興推進拠点における
リスクコミュニケーションの展開

- 日時：平成25年11月5日(火)
18:00~19:30
- 場所：弘前大学大学院保健学研究科
総合研究棟6F 第24講義室
- 事前のお申し込み  不要 ●

問い合わせ先 TEL) 0172-39-5518 E-mail) itagaki1@cc.hirosaki-u.ac.jp

主催：弘前大学大学院保健学研究科 高度実践被ばく医療検討委員会
放射線リスクコミュニケーション教育部門

アクセス



弘前大学大学院保健学研究科
〒036-8564 青森県弘前市本町66番地1
Tel : 0172-39-5905 Fax : 0172-39-5912

公共交通機関でお越しください。

◆弘南バス

- ・ JR 弘前駅 6 番のりば駒越線「大学病院前」下車 (所要時間約15分)
- ・ 弘前バスターミナル 10 番のりば駒越線「大学病院前」下車 (所要時間15分)
- ・ 土手町循環バス (100 円) は 10 : 00 から 10 分間隔で運行「大学病院前」下車 (所要時間15分)